

旅行取扱状況の概観（令和元年7月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱いは、一般団体は前年比90.0%と前年を下回ったが、学生団体は同144.6%と前年を上回り、団体旅行合計で同101.4%と前年を上回った。企画旅行については前年比95.1%と前年を下回り、個人旅行については同94.4%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比96.1%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱いは、一般団体は前年比96.0%と前年を下回ったが、学生団体は同122.0%と前年を上回り、団体旅行合計で同106.4%と前年を上回った。企画旅行については前年比98.0%と前年を下回り、個人旅行については同89.2%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比97.9%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比128.1%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の7月の総取扱額は前年比98.8%となり、前年を下回った。

【区分別の状況】

1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、職場旅行や親睦旅行、S I T型旅行などの取扱人数の減少および前年の大型の国際スポーツイベントの影響により前年比90.0%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行の取扱単価の増加や、留学・研修旅行などの取扱人数や取扱単価が増加したことにより、同144.6%と前年を大きく上回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比101.4%と前年を上回った。

海外企画旅行については、前年比95.1%と前年を下回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、アメリカや台湾方面が不調であったが、ヨーロッパやオセアニア、ミクロネシア方面などが好調に推移し、アジア方面においても堅調であった。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは西欧（スイス、フランス）、ロシア、バルト三国が好調であった。北米、オセアニアも堅調に推移している。一方で、中国、アジア（香港）、東南アジア（マレーシア、カンボジア）、カナダは不調であった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比96.1%と前年を下回った。

2. 外国人旅行

外国人旅行は、レールパスの取扱の増加や大型国際会議関連などの取扱により、前年比128.1%と前年を上回った。

3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、企業系コンベンションなどの取扱人数が増加した一方で、招待旅行などの取扱の減少により、前年比96.0%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行やスポーツイベントなどの各種大会の取扱人数が増加したことにより、同122.0%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行で前年比106.4%と前年を上回った。

国内企画旅行については、前年比98.0%と前年を下回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、東海方面が好調に推移し、中国四国や関西方面が堅調であったが、北海道や首都圏方面が不調であった。クラブツーリズムは、方面別では、北海道（道東）、北東北、中部、関西（京都、滋賀）、九州、沖縄が堅調に推移した。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比97.9%と前年を下回った。